



# 王南通信

令和4年8月9日 第22号

HPアドレス <http://ounansho.sakura.ne.jp/>



五年生のヒョウタンが実をつけています。

## カボチャとヒョウタンの実ができています

5年生の理科の学習で育てているカボチャとヒョウタン。カボチャのつるは、どんだんのびてトラックに踏まれそうになっていました。1年生の道徳「かぼちゃのつる」のお話とそっくり。前号でお伝えしましたが、夏休みの間にもさらに順調に大きく育て、それぞれしっかりと実をつけています。ヒョウタンはセンナリヒョウタンという品種で、たくさんの実がなるようです。

2学期に観察したり、実を収穫したりするのを楽しみにしていただいね。



## 残暑お見舞い申し上げます

8月に入りました。一年で一番暑い時期ですが、8月7日は「立秋」といって暦の上では秋が始まる日になり、この日を境に「暑中見舞い」から「残暑見舞い」に変わります。8月は「葉月」とも言いますが、これも「葉落ち月（紅葉が進み、葉が落ちる月）」が略されたものと言われています。今は秋と言われてもまったくピンと来ませんが、お盆を過ぎれば少しずつ空気に秋の気配が感じられるようになり、虫の声も聞こえてくることでしょう。

8月6日は広島に、今日9日は長崎に原子爆弾が投下されてから77年目を迎えます。それぞれの地で平和祈念式典が行われました。今の「平和」がまったく当たり前のものでなかった時代があったこと、そしてその時代を生きていた人々のことを振り返り、これからの「平和」は私たちがつくっていくものだというを確認したいと思います。

平和祈念式典では、各市町村が毎年「平和宣言」を世界に向かって発信しますが、ウクライナとロシアの戦争が続く現在、核兵器使用のリスクが高まっているとして、リスクの回避には核兵器廃絶しかないということが今年の平和宣言では強く訴えられました。広島での平和宣言には「一刻も早く全ての核のボタンを無用のものにしなければなりません」という言葉がありました。

平和ではなかった時代があったことを思い、今の平和は本当の意味での「平和」なのか、これからの平和をつくっていくために自分には何ができるのかを、いっしょに考えていきましょう。

## 夏休みにお話を読んで、考えてみませんか

今回、ハナミズキのお話のことを書きました。道徳教材として書いたのですが、実は学校のホームページには道徳教材として王寺町のお話とそのワークシートを掲載しています。

道徳教材とは、正直さや礼儀、思いやり、自然やふるさとの大切さなどについて考える読み物などの教材です。普段の道徳の授業では、教科書の教材をもとに考えますが、教科書以外でも様々な教材を使って考えることができます。王寺に住む子どもたちにとって、身近なふるさとのことを取り上げた読み物教材があれば、進んで考えたいのではないかなと思って作ったものです。ちなみにハナミズキでは、動植物を大切にすることとともに自分たちの学校を大切にすることを考える教材として書きました。

王寺町の教材は、学年に合わせてそれぞれ2教材ずつ、合計8教材をホームページに掲載しています。それぞれ教材の最後に、考える観点（質問）をつけていますので、自分でお話を読んで考えることができます。ワークシートもいっしょに掲載していますので、やってみようと思う人は、ワークシートをプリントアウトしてぜひ夏休み中に挑戦してみてください。ワークシートはハナミズキと同じように、私が見てコメントを添えて返します。もちろん、おうちの人といっしょに読んで考えてもかまいません。むしろおうちの人といっしょに話し合っしてほしいと思っています。楽しみに待っています。

教材やワークシートはこちらから。 <http://ounansho.sakura.ne.jp/doutoku>

## 太子学舎のハナミズキのこと

太子学舎のハナミズキ、実は7月に入ってから植え替えをしました。どうしてか。そのことを道徳教材にしてまとめました。次号（23号）に掲載しますね。

夏休みですので、ゆっくり読んで、よかったらワークシートに自分の考えを書いてください。メディアセンターのポストに入れてくれれば、私が読んでコメントを添えて返します(^-^)

ワークシートは2種類あります。太子学舎の人は①、畠田学舎の人は②のシートに考えを書いてみましょう。お話の方も学舎ごとに①、②に分けてホームページに掲載します。もちろん他の学舎の人のワークシートを考えてもかまいませんよ(^-^)

